

市広報紙について

【内容】

1. 市広報紙の表紙面の発行年について

現在は西暦何年何月号とされており、平成の元号は用いられておりません。他紙では元号を先に暦は後とした2通りに表記しているものがあり、この2通りの方が何かと便利さがあります。広報紙の内容面を見るとき、予算決算、その他においても大方は元号で表記されていることから、元号と西暦を併記していただきたいと思います。このことについて、電話で担当者に申し上げましたが、今月号にいたっても今まで通りです。

2. 市の世帯数・人口の広報紙への掲載方について

市域の世帯数・人口は広報紙に掲載されていますが、地域別については掲載されておりません。地域別の人口や世帯数を知ることによって、それぞれの地域においての諸活動や災害時等に役立つのではないかでしょうか。掲載時期は2年や3年に1度などでも、また、地域別は大まかな区域とか旧町村域とかでも良いのではないかと思います。

3. 広報紙の名称について

平成21年7月から広報紙の表紙面が、今までの「広報田辺」からローマ字の「T a n a b e」に変更されました。なぜ変更しなければならないのか納得できません。

①今、国際化が進んでいるから。②外国語の取入れが必要だから。③流れだから。④格好面から 等々から変えられたのか。

田辺市として、長年「田辺」という名の名称を大事にして、誇りと愛着、そして身心を持ってきました。また、今、田辺市は地場産業として梅、みかん、海産物等々全国に販路を広げ「紀州田辺」という名の特産物として全国の方々から愛されています。

ローマ字は、バンドグループの愛称やグループ名、ユニホームのゼッケンはともかく、市名は適当でないと考えます。

以上のことから、市名「田辺市」の名を大事に、そして、この市名を全国に広げたいと思います。このことは、私たち市民の重要な役目と考えています。

【回答】

1. 市広報紙の表紙面の発行年について

「広報田辺」では、平成17年6月の創刊以来、本文中の年月日の記載は元号を用いていますが、表紙・裏表紙の発行年月日のみ、西暦での記載となっていました。このことについて、本年3月に電話でご指摘いただいた後、検討し、7月号からの紙面刷新に合わせ、裏表紙の発行年月日の表示には元号と西暦の2通りの記載をしております。表紙については、表紙面全体のデザインとして、西暦のみの記載となっています。

いただきましたご意見については、今後の紙面刷新において、表紙面のデザインを検討する際に、参考とさせていただきます。

2. 市の世帯数・人口の広報紙への掲載方について

広報紙では、限られた紙面の中で市民の皆さんに情報を有効的に提供するため、情報の優先順位を考慮し、掲載内容を決定しています。こうしたことから、現在、「広報田辺」では、人口・世帯数の掲載を全体数と前月からの増減数のみとしています。

いただきましたご意見について、地域別の人囗・世帯数の広報紙への掲載は、情報の重要性を検討した上で、掲載方法・時期等を考えたいと思います。

3. 広報紙の名称について

平成19年3月実施の「広報活動に関する市民アンケート」の結果によると、「広報田辺」をどの程度利用しているかの問に対し、年齢が若くなるほど「利用している」との答えが少なくなっています。こうしたことから、今まで「広報田辺」が読まれていない年齢層の方に興味を持っていただくために、本年7月号より紙面を全面的に刷新し、20~30歳代の方を意識した紙面デザインを取り入れ、表紙面に「広報田辺」の表記を併せて、デザインとしてローマ字で「T a n a b e」と記載しています。

広報紙の名称については、表紙面の「T a n a b e」の記載はデザインとしてのものであり、広報紙の名称は従来どおり「広報田辺」としております。いただきましたご意見については、今後の紙面刷新において、より多くの方に親しんでいただき、利用していただける広報紙として検討する際に、参考とさせていただきます。

(担当：企画広報課)